

事業所名

チャイルドケアエイトぱれっとぱらす
(放課後くらぶエイトプラス)

支援プログラム

作成日

令和7年

2月

26日

法人(事業所)理念		「未来へはばたく子供たちに今私たちができる事」					
支援方針		子どもは必ず成長すると言う「信念」のもと、ソーシャルスキルや友達と関わる事の「楽しさ」や「喜び」を様々なプログラムを通して伝えて行きます。また、「出来る事」を一つ一つ積み上げて、自分に自信を持てるよう支援して行きます。					
営業時間		9時	0分	18時	0分	送迎実施の有無	あり なし
		支援内容					
本人支援	健康・生活	ねらい : 健康的な生活習慣の促進や基本的な生活スキルと生活におけるマネジメントスキルの獲得を目指す。 取り組み例 : ヨガ体操、制作活動(微細運動)等 主たる目的 : 根気強さを養う。細かい作業が苦手な児童に楽しさや、面白さを伝える。レクリエーションを通して社会性を学ぶ。SSTの促進と強化。					
	運動・感覚	ねらい : 感覚への環境調整や運動能力の向上を図り、日常生活や学習活動における能力的支障を軽減し、自己肯定感や自己効力感を高める。 取り組み例 : サーキット、リンボー、風船キャッチ等 主たる目的 : 勝ち負けに拘りの強い、ルールの理解が苦手な児童に遊びを通して気持ちの共有を促す。体幹や様々な感覚を鍛える。					
	認知・行動	ねらい : 発達レベルに応じた学習支援を通じ一人一人の認知の特性を理解し、認知の偏りに対する予防と状況に合った適切な行動への対応力を養う。 取り組み例 : 間違い探し、色めくり、フルーツバスケット等 主たる目的 : 協同して指示を守り、行動する。周囲との協調性を養う。五感を鍛える。観察力、集中力を養い言葉にして表現する。					
	言語 コミュニケーション	ねらい : 適切なコミュニケーションスキルの獲得や自己表現力の向上を図り、社会生活における関係性を高める。 取り組み例 : 借り物競争、伝言ゲーム、O×ゲーム等 主たる目的 : 自分の考えを表現出来るようになる。協調性や社会性を身につける。友達との関わり方を学ぶ。					
	人間関係 社会性	ねらい : 集団生活でのルールに合わせた行動や社会参加を通じて他者との関係構築や社会性の向上を図る。 取り組み例 : 転がしドッチボール、しっぽ取り、シャトルキャッチ等 主たる目的 : ルールを理解し守る。集中力を高め、周囲と協力しながら達成感を得る。					
家族支援		保護者の不安や困り事に寄り添い、関わり方の工夫の共有や現実的な情報提供を行う。又、子どもの成長に付き添い育ちのまとめと学校等への橋渡しを行う。			移行支援		地域社会への参加や入学・進学・就職時等のライフステージの移行時を見据えた将来的な支援。インクルージョンの考えを推進する支援。
地域支援・地域連携		地域の様々な場面で適切な支援を受けられ、かつ、地域の中で居場所持つ事が出来るように関係機関等と連携する事が重要であることから、普段から地域全体の子育て支援を活性化するためのネットワークを構築する。			職員の質の向上		子どもの課題に常に前向きに向き合いながら職員間での情報共有を欠かさぬよう定期的にカンファレンスを行い、総合的に成長の後押しを続ける事でスキルアップを図る。法人が主催する研修への参加。(身体拘束・虐待防止・ハラスメント等)事業所の運営に関わる資格取得への研修参加及び助成。
主な行事等		1月:初詣、新年会 2月:節分 3月:お別れ遠足 4月:お見知り遠足 5月:運動会 6月:避難訓練 7月:プール開き、保護者会 8月:園外活動 9月:老人会慰問 10月:避難訓練 11月:発表会 12月:クリスマス会等					